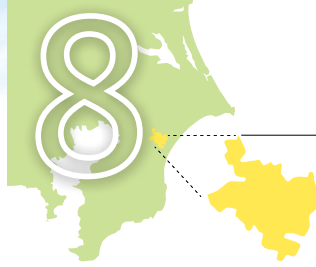


# 戦後80年 東金と「戦争」の記録

終戦から80年。当時、東金も大きく太平洋戦争の影響を受けました。大戦末期、現在の東金市域を含む九十九里浜一帯は防衛の最前線とされました。昭和19（1944）年に整備された東金飛行場（豊成飛行場）には飛行戦隊が駐留。そして、砲台設置のための陣地や砲台観測所など、本土上陸作戦の警戒のためにさまざまな施設が築かれました。



## 東金市民憲章

わたくしたち東金市民は

1. 郷土を愛し、環境をととのえ、住みよいまちをつくりましょう。
1. 互いにいたわり、笑顔を忘れず、心ふれあうまちをつくりましょう。
1. からだをきたえ、誇りをもって働き、豊かなまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、力をあわせて、明るいまちをつくりましょう。
1. 歴史を尊び、教養を深め、香り高い文化のまちをつくりましょう。

## 目次(主な内容)

ページ	内容
2	特集 戦後80年 東金と「戦争」の記録
6	ホットほっとニュース
8	ヤッサ東金祭
9	2026 東金・九十九里波乗りハーフマラソン ボランティア・出店者・協賛 大募集

## ピックアップ情報

- |    |                            |
|----|----------------------------|
| 10 | ときスポ2025参加者募集<br>東金ぶどう郷が開園 |
| 11 | イベントPICK UP!               |
| 12 | 定額減税不足額給付金                 |

## とうがねインフォメーション

- |    |                    |
|----|--------------------|
| 15 | 各種情報／子育て・保健・相談 ガイド |
| 24 | 街かどアイドル／おいしいレシピ    |

## 記事の見方

- ・市外局番の記載がないものは0475です
- ・ID番号がある記事は、ID検索できます

手順①市ホームページ(<https://www.city.togane.chiba.jp>)



市ホームページ

②検索窓の近くから「ID検索」で番号を入力



## 市役所窓口

**開庁時間** 月～金曜日（祝休日、12月29日～1月3日を除く）  
午前8時30分～午後5時15分

※休日窓口や市の施設の休館日は15ページに掲載。

## 人口と世帯

人口／56,452人(-42) 世帯／28,451世帯(+10)

男性／28,428人(-34) 女性／28,024人(-8)

※令和7年7月1日現在（ ）は前月比

## ABOUT PHOTO

## 東金飛行場（豊成飛行場）跡

太平洋戦争末期の昭和19年3月、陸軍の命令によって本土防衛の一環、九十九里迎撃作戦に備えて築かれた飛行場。面積約200ヘクタール、その大部分は豊かな畑でした。軍・官・民による昼夜を問わない工事により、同年12月には、滑走路未完成の状態で行行第28戦隊が移駐。偵察機の百式司令偵が武装し、戦闘隊として駐留しました。飛行場の設置により、米軍艦載機の攻撃を受けるようになり、軍関係の建物はもとより民家も焼かれ、民間人にも死傷者を出すに至りました。終戦とともにその役目を終え、現在は、宅地や工場農地などが広がります。この飛行場に勤務した兵士将校が、戦後住み着いて農業にいそんだ土地として名づけられた「土農田」という地名と、格納庫の基礎部分（見開き写真）が、その跡をとどめています。



▲本土防衛の跡を偲び平和を祈るふるさとの碑（土農田）の背面には、当時の様子が刻まれ、今を生きる我々に平和の尊さを伝える。

こうした迎撃体制整備の動きは、連合軍の攻撃を招きました。東金市域では陸上における直接の交戦こそなかったものの、あと半年戦争が続いていたら、上陸作戦（コロネット作戦）により本土決戦がこの地で繰り広げられたかもしれません。

また、戦争では、多くの兵士たちが家族や恋人、友人たちを残し、祖国を護るため戦地に散り、多くの民間人も犠牲になりました。

令和7（2025）年は、終戦を迎えた昭和20（1945）年から数え80年となる節目の年。戦争の体験や戦争遺跡を後世に伝え、平和の尊さについて改めて考える機会として、当時の様子と、今も残る戦争遺跡を写真などで伝えます。

問 生涯学習課 ☎（50）1187

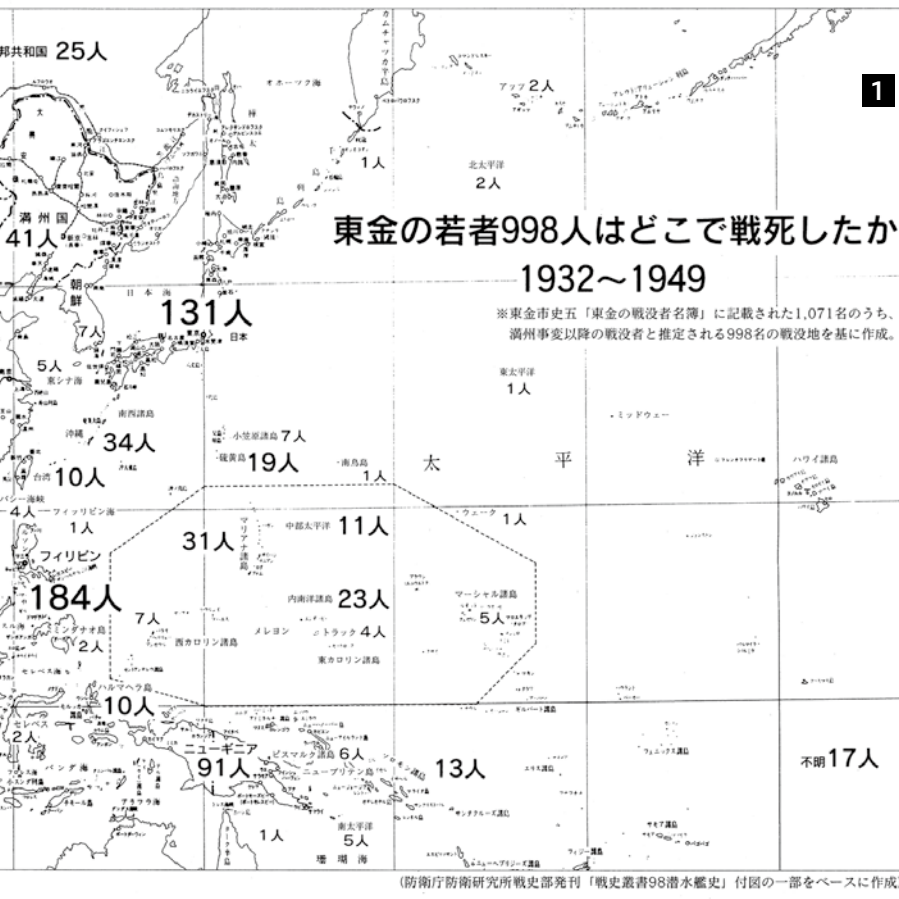
# 戦後80年 東金と「戦争」の記録

受け継がれた記録や言葉は、忘れてはいけない当時を物語ります。今年は市内の中学校で、表紙の写真のように、パネル展示などを通じて戦争について知り、現在そして未来に生かせるよう深く考える機会を設けました。ここでは、戦中や戦後の東金についてお伝えします。

## ① 東金の戦没者と戦没地

確認されている限りで、大戦中、東金の方998名の尊い命が失われています。国内で亡くなった方の多くは戦

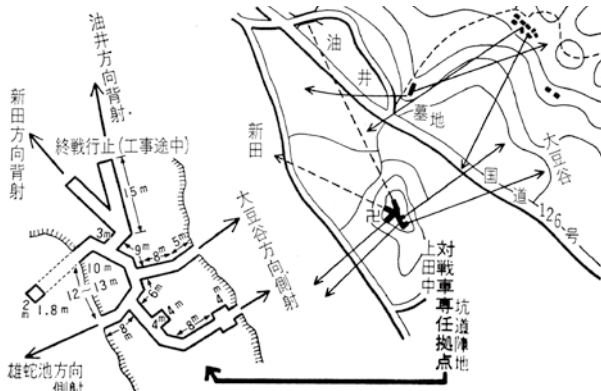
傷が原因でした。ソビエト連邦で死亡した25名は、全て終戦後、シベリア抑留により亡くなっています。



### ▲東金戦争体験記 巻末図表

東金市史第5巻「東金の戦没者名簿」に記載された1,071名のうち、満州事変以降の戦没者と推定される998名の戦没地をもとに作成

北はソビエト連邦、アリューシャン列島のアッツ島、南はオーストラリア北部、西はインドのインパールから東は太平洋の中央のウェーク島まで、名も知らぬ土地や海で尊い命が失われています。



東金市史第7巻 p.967 上田中坑道陣地



## ② 上田中坑道陣地跡

田中にある法光寺の裏山は、山そのものが拠点速射砲陣地として掘削されました。この陣地は、九十九里に上陸した米軍が、千葉東金道路（現在の国



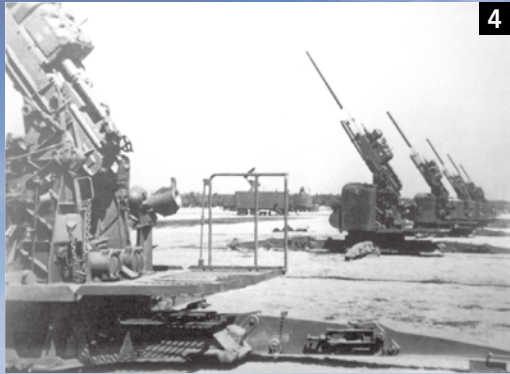
3

## ③ 御殿山の砲台観測所跡

日吉神社の西側には、本土決戦時に九十九里浜に上陸してくる連合軍を砲撃する作戦が考えられ、30センチ榴弾砲陣地の砲座が作られました。そして、現在の東金高校の西側に位置する御殿山（東金城址）には、その攻撃の成果を見極め、敵軍の戦況を把握し、その情報を砲陣地へ報告する観測所が建設されました。建設途中で終戦を迎えたため観測所は未完成でしたが、観測所建設の名残は、写真のように今でも御殿山に残っています。

道126号)を通じて東京に進み大豆谷方面に現れた時、これを側射し、背射して、その進撃を阻止しようとしたものです。

もしも上陸に至っていた場合、沖縄や硫黄島のような戦闘が繰り広げられていたかもしれません。

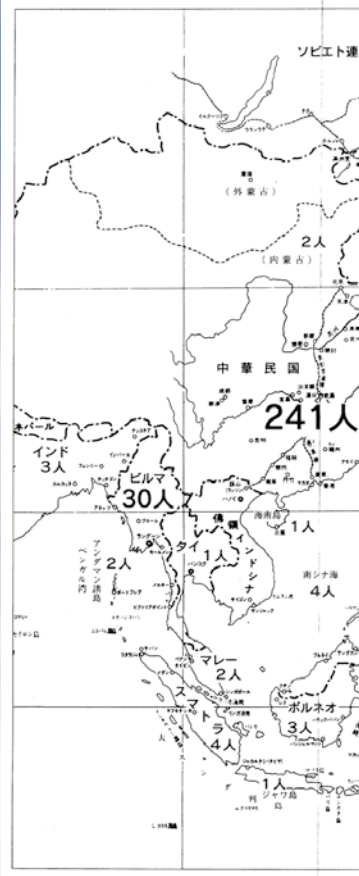


▲キャンプ片貝に設置された高射砲の様子  
出典：東金市デジタル歴史館

4

現在、国民宿舎「サンライズ九十九里」がある一帯は、戦後間もない昭和23（1948）年に「米軍豊海高射砲演習場」（キャンプ片貝）が建設されていました。土・日曜日を除いて、正午から午後6時まで区域内で実弾射撃などを実施していました。その影響で住民への被害、漁業被害があったそうです。東金市街には、兵士たちが買い物や銭湯などに来ていました。

4.5 キャンプ片貝



戦争による悲劇や戦時下の生活を忘れず、後世に遺し伝え、平和を大切に守っていけるよう、企画展示を行います。今回掲載しているものを含む多くの写真や図版、解説と共に、戦時の東金市域の様子を伝えます。

本土決戦に備えて築かれた陣地、東金飛行場の記録、東京からの疎開児童の話も交えた戦時下の生活、そして戦後に至るまでをご覧ください。

とき▼令和8年10月31日(土)まで  
ところ▼東金文化会館

関 生涯学習課

☎(50)11187

PICK UP  
郷土研究愛好会企画展示  
後世に遺し伝えたいこと  
— 80年前の東金 —

キャンプ片貝入口▼



出典：東金市デジタル歴史館

5

た。今回掲載した写真は、その方が撮影した貴重な記録です。

東金図書館の郷土資料室には、市の歴史に関する蔵書が多くあります。『語りつく昭和（東金戦争体験記）』『幻の本土決戦第2巻 房総半島の防衛』『もしももう半年戦争が続いたら本土決戦下の東金』などの本は、当時の様子を知る手がかりになります。2冊以上あるものは貸出も可能です。

BOOKS  
東金と戦争に関連する図書資料

関 東金図書館

☎(50)11190



関 総務課

☎(50)11117

PICK UP  
原爆の絵・ポスター展

平和推進事業の一環として、広島市の原爆被害に関する絵・ポスターを展示します。

また、折り鶴を募集します。お預かりした折り鶴は、広島平和記念公園内にある「原爆の子の像」に捧げられます。なお、鶴を折る紙は、チラシや包装紙などでも構いません。

とき▼8月15日(金)まで午前8時30分～午後5時15分（最終日は午後4時まで）

ところ▼市役所1階ロビー（エレベーター前）

終わりに

日本の平和の礎には尊い犠牲があり、ここ東金も例外ではありません。今を生きる多くの方は、戦争を体験していない世代です。しかし、この記録と記憶を風化させず、次の世代へ平和な世の中をつないでいくことが、現在生きている私たちに必要なことです。

もし戦争があつたら半世紀経ていたら、どうなっていたでしょうか。あなたも、私も、生まれていなかったかもしれせん。

この機会に「平和」について、共に考えてみませんか。



関 秘書広報課

☎(50)11114

BOOKS  
東金戦争体験記  
語りつく昭和

「むかし、東金は戦場だった」。この本は平成7年「広報とうがね」で募集し寄稿いただいた戦争体験などの記録集（平成8年発行）です。当時を生きた人が何を考え、行動したのか、日中戦争から戦後の混乱期まで、55人の証言をありのままに伝えます。

価格▼1冊1千円（在庫がなくなり次第販売終了）